

令和二年度 学校通信 根石だより

虹

令和二年五月十二日

岡崎市立根石小学校



5月号

校庭を歩いて

教頭 鈴木 優

校庭をぶらりと歩いていると、俳句が書かれた小さな石板を幾つか目にします。いつ頃書かれたものか、残念ながら手がかりはありません。昭和の終り頃のものでしょうか。いくつかの俳句のうち、私が特に気に入ったものを紹介します。

「若竹や 砂に落ちたる 蝸牛（かたつむり）」

「もちの葉の 四十五枚落ちて うらおもて」

「南天の 実のかたぶきぬ 夕日影」

詩心など無縁の私ですが、木漏れ日の中、校舎を横にしてこうした俳句を目にすると、作者が目にした情景が浮かんでくるようです。作者は大人なのだろうか、子供なのだろうか。それとも根石小学校の先生なのだろうか。いろいろな疑問がわいてきます。これまでにこの俳句を教材にして授業をしたことのある先生や、感想を出し合った心豊かな子供たちがきつといたのだらうと、想像が膨らみます。

正門を入ってすぐに目につくのは「全力をつくせ」の石碑です。「開校百周年記念「一九七三年」とあります。私が小学校二年生の時のものです。

「全力をつくせ」は、たとえピンチのときであっても、この言葉を心の支えとしてがんばることができそうな校訓です。たくさんの子供たちがこの言葉を胸に刻んで、大いに学び、運動し、それぞれの学校生活を充実したものにしたいことでしょう。

さて、正門をはきんで、その反対側。大きな楠の木の根元にある石碑には、

「時うつり 世の変わるとも 旧校名 投（なぐり）の 一字 とどむ この庭」と刻まれた石碑があります。旧校名のこの投（なぐり）とは何のことでしょうか。

「開校百周年記念 根石小学校百年誌」を読んでみると、「投（なぐり）」の起源がわかりました。根石小学校は、明治五（一八七二）年、投町（今の若宮町）の有志が、同町にある法円寺を仮校舎として読み方・算術・書き方の三教科を教えたことが始まりであると書いてありました。翌年には、「第二大学区第八中学区内額田郡岡崎投町第四番小学根石学校」という長い名前で呼ばれるようになります。ここに「投町」という文句があります。

その後、幾度となく学校の合併や校名の変更を繰り返しながら、現在の地に小学校が落ち着いたのは昭和十二（一九三七）年。「岡崎市根石尋常小学校」と呼ばれます。戦争が終わり、昭和二十二（一九四七）年、ようやく「岡崎市立根石小学校」になりました。

昔のことを大切に忘れずに、そして新たな学校を支えていこうという地域の人々の熱い思いが石碑から伝わります。

さらに、その石碑の裏には、投（なぐり）の由来として、こう書かれてありました。

「生栗（なぐり）より、名栗（なぐり）になりて奈栗（なぐり）とう やがて投票（なぐり）の終に投（なぐり）ぞ」とありました。これはいったいどういう意味なのでしょうか。

大変興味がわいてきて、何度も読み返しました。機会を見つけて、じっくりと調べてみたいと思いました。



4/24(金)・4/30(木)・
5/7(木)

学校再開に向けて、学年園・愛校の森・学習の森の草取りをはじめ、廊下・階段・トイレ・昇降口等、校舎内外の環境整備を職員全員で行いました。

コロナウイルスに負けず、お家でがんばっている 根石っ子たちへ、先生たちからのメッセージ

さくら、ちゅうりっぷ、つつじ、こてまり、はなみずき、さつき…、じゅんばんにときのながれをおしえてくれます。げんきにおよいでいたこいのぼりは、うちのなかへかえっていきました。いちねんせいといっしょに、ねいしがつくのときのながれをかじりたいです。
はなだ ちはる

みんなが いつでも とうこう できるように じゅんぴを して まっています。みんなも がっこうが はじまったら、げんきに とうこう できるように、はやね はやおきや はみがき、けんこうに きを つけて すごして ください。みんなにあうのが たのしみです。
あさの みのる

みんなの かおを おもいうかべながら、まいにちをすごしています。おもいきり あそんだり、いっしょけんめい べんきょうしたり、おいしい きゅうしょくを たべたり…いっしょに やりたいことが いっぱいあります。げんきなみんなに あえることを たのしみにして まっているよ。
なかね いずみ

ながいおやすみになりました。はやく、みんなといっしょにがっこうせいかつをおくりたいです。がっこうがはじまったら、いっしょに、べんきょうしようね。たくさん、あそぼうね。それまで、びょうきやけがにきをつけて、すごしていてね。みんなにあえるひを、たのしみにまっています。
にしざわ ゆきこ

「試練は乗り越えることができる者のみに与えられる」みなさんもやりたいことをたくさん我慢してきたことでしょう。我慢した分だけ人は成長できます。早くみんなの元気な声を聞きたい、素敵なお顔をみたい、毎日そう思っています。
鈴木 絢也

早くみんなと学校でいっしょにべんきょうしたり、たくさんあそんだりすることができる日がくることを心待ちにしています。みんなも元気いっぱい体を作ってじゅんぴばんたんにしていてくださいね。みんなと会えるのを楽しみにしています。
中根 なぎさ

苦手な教科の復習や新しい学年の予習、お家でのお手伝い。普段の学校生活では、やろうと思ってもなかなかできないと思います。こんなときこそ、自分のためにプラスになることを考え、行動していきましょう。みんなと会える日を楽しみにしています。
山本 慎太郎

「ぜんべいじいさんのいちご」というえほんがあります。わたしが子供のころにであった本です。山の中にひとりであらすおじいさんが、あいじょうをこめていちごをつくるおはなしです。よむといつもころがあたたかくなります。学校がはじまったら、いっしょによもうね。みんなにあえるのをたのしみにしています。
中川 舞子

お家で過ごす時間が増えていますね。先生の家には、中学生と高校生の子供がいるので、時間があれば、一緒に勉強をしたり、体を動かしたりしています。そして「やっぱり学校がいいね」と話しています。一日も早く、みなさんに会えますように…。
斎藤 優亜子

みんなの笑顔や楽しい笑い声を聞くことのできない日々が続く、とてもさみしく思います。学校はみんなの元気で満ち溢れていたのだと、痛感しています。みんなの元気な顔を見られるのを心から楽しみにしています。健康に気をつけてね。
大久保 日向子

突然の休校。やることなくつまらない日々を過ごしている人も多いでしょう。でも、普段はできない勉強（これまでの勉強の復習など）をするチャンス期間でもあります。「ピンチはチャンス」この休校中にさらに成長したみんなに会えることを楽しみにしています。
大原 洋平

みなさん、元気ですか？長いお休みになってしまいましたね。みんなといっしょに勉強したり、いっしょに体を動かしたりできる日が、早くきてほしいです。元気な姿で、全員集合できるように、健康に気を付けて過ごしてください。あと少し、がんばりましょう！
松浦 圭祐

始業式の日、みなさんと会ったときの元気のよいあいさつを今でもせん明におぼえています。みなさんの元気で心地のよいあいさつを聞くことができることを心から楽しみにしています！休校が明けたら、精一杯楽しみましょう！

今泉 雄大

根石っ子の皆さん、元気になっていますか。長い休校が続き、皆さんがいない学校は、とても静かで寂しく感じます。一日でも早く根石小学校にみんなの笑い声が響きわたる日が来ますように。みんな、学校で待っているよ。

鋤柄 由恵

「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」5年で初めて出会う国語科の物語です。まほうの言葉です。物語は色々な世界を見せ、色々な気持ちにさせてくれます。本はステキです。根石っ子のみなさん、ぜひ本を読んで、その世界を、また会える日に教えてください。楽しみに待っています。だいじょうぶ、だいじょうぶ！

福永 えりな

みんなに会えない期間が続き、とてもさみしいです。でも、みんなと一緒に勉強したり、放課に遊んだり、給食を食べたりできる日が早くくることを願って、みんなを迎える準備をしています。休校明けから、楽しい毎日が過ごせるように、今はパワーをためておこう！

近藤 貴施

学校で会えない寂しさを感じながらも、みんなの笑顔の頭に思い浮かべて、今度会える日を楽しみにして過ごしています。5年生の勉強が少しでも楽しくできるように、私も日々学習しています。じっくり考えると新たな発見ができて、わくわくした気持ちになりました。今は、体力と気力を落とさないように、できることを着実に進めていきましょう。

近藤 和恵

長い休校期間、どのように過ごしていますか。先生は、みなさんと会える日が待ち遠しいです。もどかしいですが、ここは前向きに考え、今だからこそできることをして過ごしましょう。お手伝い、勉強、室内でのトレーニングなど。みなさんの力になれるよう、先生もがんばります。

老平 圭佑

今までとは違う日々。何を、何時から、どれくらいがんばろうと、自分で決めることがおおくなったのではないのでしょうか。この力は、大人になったときに必ず役に立ちます。休校明け、少し大人に近づいた皆さんに会えることを楽しみにしています。健康に気を付けてね。

佐藤 明子

どこにいてもきみたちは根石小の一員です。校訓「全力を尽くせ」を大切に、今できることを精一杯がんばろう。勉強、お手伝い、体調管理…。できることはたくさんあります。4月よりも成長したみんなに会えるのを楽しみにしています！

長谷 昇知

『ACTION』6年生の学年通信のタイトルです。さぼっちゃおっかな、めんどうだなと感じたときは、この言葉を思い出して、自分を励まし『行動、実行』に移していこう。早くみんなと一緒に過ごしたいです。教室で会えるのを楽しみにしています。

成田 裕美

学校がずっとお休みですが、お家でおてっだいできているかな。お休みの間にしたことをおしえてくださいね。学校でいっしょにべんきょうできる日が来るのを楽しみにしています。

白井 遥

お家にいる時間はどのようにすごしていますか。例えば、絵を描いたら学校に持ってきてお友達に見せてくださいね。お話もたくさん聞かせてくださいね。いまがんばることは安全にすごすことです。一緒に頑張りましょう。

田上 純子

おうちでの生活が長くなってきました。何はなくても「健康第一」です。「早寝、早起き、朝ごはん」で生活のリズムを整えて、元気に生活できるように心がけてください。再開されたときに、にこにこえがおで会えるのを楽しみにしています。

宮北 治美

学校でいっしょに勉強するときこそ、家で筋トレやウォーキングをしています。カラダにいいこと、何かしていますか。運動をたっぷりすれば、ごはんがいっぱい食べられるし、夜もぐっすりねむれますよ。

天野 孝悦

「早ね早起き」「好き嫌いせずごはんを食べる」「できる範囲で体を動かす」「手洗い」「歯みがき」など、体や心の健康のために自分でできることをしましょう。みんなに会える日を楽しみにしています。

滝本 昌代

学校が再開したら元気いっぱいみなさんと一緒に、学んだり遊んだりできるよう、教科・領域についての学習や体力づくりをして毎日を過ごしています。みなさんも、学校が再開する日を楽しみに、健康に気を付けてお過ごしください。

小田 美保

コロナウイルスに負けるな！

みなさん元気ですか？恐ろしいウィルスが広がり、大変な思いをしていると思います。こんな時期、家族や友達との絆を深め、毎日の生活を送りましょう。みんなの明るい笑顔を6月から見たいと思います。

内田 正信

始業式で先生がみなさんにお話したことを覚えていますか？「自分の命は自分で守る」「1日1日を大切に過ごす」でした。しっかりできていますよね。もうすぐ学校が始まります。それまでもう少しの辛抱です。今はみなさんの心の中に勉強や運動をがんばる気持ちを蓄える時間です。心の中にがんばる気持ちをいっぱい育ててきてくださいね。学校が始まったらその気持ちを爆発させましょう。みなさんに会える日を楽しみに待っています。

小野 隆義

ずっとお休みで、ともだちや先生たちと会えずに退屈な思いをしていることでしょう。早くみなさんと一緒に勉強したり遊んだりできるのを楽しみにしています。きそく正しい生活を心がけ、学校が始まったら元気いっぱい楽しく勉強したり遊んだりしましょう。

各務 圭

何かできないことはないかと考え、読書や料理、掃除をしています。読書を通して、宇宙へ行ったりと、天国へ行って天女に会ったりとても楽しいです。料理は、煮魚に凝って、たらやぶりやかれいを煮ました。掃除をして、すっきりしたいと日々頑張っています。コロナに負けないぞ。

仙波 百合子

休校が続く、気持ちが落ち込んでいませんか。食事は心も体も元気にしてくれます。こんな時だからこそ、しっかりごはんを食べて笑顔で過ごしてください。学校が始まり、みんなに美味しい給食を食べてもらえることを楽しみにしています。

大矢 美代子

休校となり、子供たちの顔をしっかりと見ることができず、寂しい思いをしています。どの子も真剣になれる、どの子も笑顔になれる、そんな活動を目指したいと思います。子供たちに耳を傾け、一緒ががんばっていきます。よろしくお願ひします。

市川 陽明

休校が続く、みなさんはどんな生活をしていますか？今まで当たり前のようにやってきたことが、実はとてもすばらしく、感謝すべきことだとあらためて感じています。命を大切に！元気に乗り切りましょう！

藤井 淑子

新学期が始まってすぐに休校になってしまい、みなさんとはまだあまり顔を合わせていません。早く学校が始まり、みなさんとたくさんお話をしたり、勉強をしたりしたいです。元気な姿でみなさんが登校してくれるのを心待ちにしています。それまで、体に気を付けて過ごしてください。

鈴木 優

みなさんと授業ができるようになることを楽しみに待っています。楽しい学校生活を送るためには、健康であることが大切です。生活リズムを崩すことなく、家でできる運動をして健康維持に努めましょう。

倉橋 重夫

学校再開に向けて職員一同、万全の備えで児童のみなさんを迎えます。